

Sagabi News 61

61

2016(平成28)年度 収支決算報告

学園は、学生から納付された授業料等の学納金と国庫補助金を大きな収入源としており、その他、種々の手数料や寄付金を加えて、学生の教育や課外活動、教員の研究活動、地域社会との連繋事業等にかかる経費を賄っています。また、日々の教育研究活動を支える校舎の安全性・利便性確保やコンピュータをはじめとする設備の更新を行いつつ、収支のバランスを保ちながら拡充のために投資や将来に向けての積立を行います。

○4つの計算書類

資金収支計算書は、1年間の諸活動に対応するすべての収入と支出の内容と資金の顛末を表す計算書です。その資金収支を「教育活動」「施設整備等活動」「その他の活動」と3区分に組み替え、活動ごとのキャッシュフローを明確にする目的で新設されたのが、活動区分資金収支計算書です。また事業活動収支計算書は従来の消費収支計算書を改良したもので、1年間の学校の事業に係る収入と支出の内容と均衡の状態を明らかにするもので、企業会計でいう損益計算書にあたります。大学は営利団体ではないので、利益を出すことを目的とはしていませんが、収支のバランスが取れた安定した経営が望まれます。また貸借対照表は、年度末の資産と負債、純資産の状況を示しています。

○資金収支計算書の主な科目について

資金収支計算書の収入に関わる科目として、学生生徒等納付金収入は文字通り、学生から徴収した学費です。大学の最も大きな収入源となります。手数料収入は入学検定料や証明手数料、華道免許等申請手数料などが含まれます。寄付金収入には寄付の目的を特定した特別寄付金と教育施設・設備拡充資金として教育全般を支援いただいている一般寄付金の2種類があります。補助金収入は国と地方公共団体からの補助金です。資産売却収入は施設や設備、有価証券などの資産を売却した時に生じる収入です。付随事業・収益事業収入には学生寮の収入である補助活動収入、各種団体からの受託事業による収入や生涯学習講座受講料などの公開講座収入などが含まれます。受取利息・配当金収入は預金の利息等の収入をいいます。雑収入は施設利用料の収入や本学園が加入する私立大学退職金財団から交付される退職資金の収入が主です。前受金収入とは次年度分の授業料等で前年度に受け入れた額をいいます。学校会計では前年度の前受金を資金収入調整勘定の中で差し引いて調整しています。

一方、支出に関わる科目として、まず人件費支出があります。人件費には専任教職員・非常勤教職員、役員すべての人件費と退職金がこれに含まれます。教育研究経費支出は学校本来の事業である教育研究活動を支えるすべての経費のことで、消耗品費や光熱水費、通信運搬費、修繕費、支払手数料、奨学金などに分かれています。管理経費支出も同様に分かれています。中身は法人運営業務や人事に係る費用、学生募集・広報の経費に限られます。借入金等利息支出・借入金等返済支出は文字通り、返済した借入金利息と元金のこと。施設関係支出は建物や構築物、設備関係支出はコン

ピュータや視聴覚機器などの教育研究用機器備品や管理的業務に使用する機器備品、図書などへの新たな投資額を指します。資産運用支出とは特定の目的をもって資金を積み立てるものです。

○活動区分資金収支計算書の見方

教育活動による資金収支は、資金収支計算書の資金収入及び資金支出のうち、「施設整備等活動」及び「その他の活動」による資金収支をのぞいたもので、キャッシュベースでの本業の教育活動の収支状況を見ることができます。施設整備等活動による資金収支は、施設・設備の取得または売却その他これらに類する活動に係る収支をいいます。「その他これらに類する活動」とは、資産の増加を伴う施設もしくは設備の改修等であり、施設設備の修繕費や除却に伴う経費は含みません。)当年度に施設設備の購入があったか、財源がどうだったかを見ることができます。その他の活動による資金収支は、財務活動、収益事業活動、預り金の受払い等の経過的活動に係る資金収支並びに収支を伴う過年度修正額をいいます。具体的には、①借入金(学校債)等の借入、返済に係る収支、②有価証券の購入、売却に係る収支、③受取利息・配当金、支払利息等であり、借入金の収支、資金運用の状況等、主に財務活動を見ることができます。

○事業活動収支計算書の見方

事業活動収支計算書は従来の消費収支計算書の改良版です。経常的及び臨時的収支に区分して、それぞれの収支状況を把握できるよう改正されました。さらに経常的な収支を「教育活動収支」と「教育活動外収支」に分けて把握することができます。

各収支の収入の部は、資金収支計算書の学生生徒等納付金収入から雑収入までとほぼ同じで、特別収支に現物寄付の額が新たに加算されています。借入金のように学校法人の負債となるような外部資金は含まず、すべて学校に帰属する収入のみとなっています。

一方、各収支の支出の部は、資金収支計算書の人件費から借入金等利息までとほぼ同じ内容ですが、教育研究経費と管理経費にそれぞれ過去に取得した建物や機器備品の減価償却額を経費として加えています。その他、古くなった資産を処分したことによる費用(資産処分差額)や徴収不能額等を計上しています。施設設備の維持と拡充などにあてるための基本金を最後に差し引いて(組入れて)、当年度の収支差額を出す方式に改められました。

当年度の主な施設設備の整備

さて平成28年度は施設設備関係の整備として、学生食堂の改修工事、研心館・遊意館網戸設置工事、校名変更に伴うサイン変更工事、管理棟・有響館排水ポンプ部品取替工事、トイレ換気扇等取替工事、ブライント取替工事等を実施しました。また順次蛍光灯等からLED照明への転換を進めています。

財政の状況

資金収支計算書の収入の部では、学生数の増加に伴い学

事業活動収支では、教育活動収支が若干ながら黒字化し、少額の教育外収支を加えた経常収支で約511万円の黒字を計上し、年間の収支バランスが均衡しましたが、次年度以降も引き続き、教育研究経費を増額して教育の充実に努めながら、経常収支の黒字を確保しなければいけません。さらに特別収支では「教育研究活性化補助金」の受け入れにより約1千2百万円の黒字となり、基本金組入前収支は約1千7百万円の黒字となりました。現物寄付と借入金の一括返済、施設設備投資による基本金の組入れは、約1億8千万円となり、当年度の収支差額は、約1億6千万円の赤字となりました。年度末の資産と負債等の状況は、貸借対照表の通り、約91億5千万円の資産を有し、負債は約10億1千万円で、純資産は約81億4千万円となっています。負債を上回る十分な流動資産を保持しています。

収入の部				支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異	科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	1,067,062	1,062,312	4,750	人件費支出	708,575	704,672	3,903
手数料収入	12,760	15,420	△ 2,660	教育研究経費支出	307,649	297,548	10,101
寄付金収入	3,650	4,162	△ 512	管理経費支出	141,568	137,733	3,835
補助金収入	179,058	182,268	△ 3,210	借入金等利息支出	1,230	1,071	159
付随事業-収益事業収入	16,571	18,684	△ 2,113	借入金等返済支出	147,904	147,904	0
受取利息・配当金収入	3,413	3,415	△ 2	施設関係支出	18,696	18,609	87
雑収入	40,408	41,369	△ 961	設備関係支出	33,204	32,631	573
前受金収入	221,012	273,084	△ 52,072	その他の支出	231,022	210,287	20,735
その他の収入	149,828	141,928	7,900	(予備費)	3,500	—	3,500
資金収入調整勘定	△ 262,782	△ 270,560	7,778	資金支出調整勘定	△ 88,000	△ 118,617	30,617
前年度繰越支払資金	1,408,471	1,408,471	—	次年度繰越支払資金	1,334,103	1,448,715	△ 114,612
収入の部合計	2,839,451	2,880,553	△ 41,102	支出の部合計	2,839,451	2,880,553	△ 41,102

		科 目	予 算	決 算	差 異
教育活動収支	収入の部	学生生徒等納付金	1,067,062	1,062,312	4,750
		手数料	12,760	15,420	△ 2,660
		寄付金	3,650	4,162	△ 512
		経常費等補助金	168,026	171,235	△ 3,209
		付随事業収入	16,571	18,684	△ 2,113
	支出の部	雑収入	40,408	42,003	△ 1,595
		教育活動収入計	1,308,477	1,313,816	△ 5,339
		人件費	693,672	689,807	3,865
		教育研究経費	486,649	460,913	25,736
		管理経費	154,070	151,330	2,740
教育活動外収支	収入の部	徴収不能額等	9,150	8,995	155
		教育活動支出計	1,343,541	1,311,045	32,496
		教育活動収支差額	△ 35,064	2,771	△ 37,835
		受取利息・配当金	3,413	3,415	△ 2
		教育活動外収入計	3,413	3,415	△ 2
	支出の部	借入金等利息	1,230	1,071	159
		教育活動外支出計	1,230	1,071	159
		教育活動外収支差額	2,183	2,344	△ 161
		経常収支差額	△ 32,881	5,115	△ 37,996
		その他の特別収入	12,032	12,604	△ 572
特別収支	収 入 部	特別収入計	12,032	12,604	△ 572
		資産処分差額	800	779	△ 21
		特別支出計	800	779	△ 21
		特別収支差額	11,232	11,825	△ 593
		基本金組入前当年度収支差額	△ 30,849	16,940	△ 47,789
基本金組入額合計	収 入 部	当年度収支差額	△ 148,905	△ 174,423	25,518
		当年度収支差額	△ 179,754	△ 157,483	△ 22,271
		前年度繰越収支差額	△ 3,214,730	△ 3,214,730	0
		翌年度繰越収支差額	△ 3,394,484	△ 3,294,212	△ 100,272

【貸借対照表】 2017(平成29)年3月31日 (単位:千円)

資産の部		負債・基本金・消費収支差額の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
固定資産	7,657,736	固定負債	599,222
流動資産	1,496,909	流動負債	415,153
資産の部合計	9,154,645	負債の部合計	1,014,375
		基本金	11,434,483
		繰越収支差額	△ 3,294,213
		純資産の部合計	8,140,270
		負債及び純資産の部合計	9,154,645

【重点項目】

1. 定員確保のための学生募集に係る諸事業
 - ・効果的な学生募集活動の強化
 - ・校名変更周知
2. 教育支援・学生支援体制の強化
 - ・奨学金事業の継続
 - ・就職・キャリア支援体制の強化
 - ・新たな教育システムの構築
3. 人件費の適正化
 - ・給与と体系、諸手当の検討
 - ・教育職員評価制度の検討
 - ・事務職員人事制度の検討
 - ・外部委託事業の検討
4. 教職員の資質向上
 - ・SD・FD研修の実施
5. 教育組織の充実
 - ・学生数に応じた教員配置
6. 外部資金の獲得
 - ・私立大学等改革総合支援事業補助金獲得のための諸施策実施
 - ・一般補助の確実な獲得
 - ・受託事業の展開
7. 校名変更に係る諸経費
8. 卒業・修了制作展学内実施に伴う施設整備

流動資産	1,497	負債	1,014
固定資産	7,657	基本金+繰越収支差額	
		純資産	8,140
資産の部		負債及び純資産の部	

【2017(平成29)年度 資金収支予算書】		(単位:千円)	
収入の部		支出の部	
科 目	予 算	科 目	予 算
学生生徒等納付金収入	1,175,960	人件費支出	725,917
手数料収入	13,446	教育研究経費支出	326,371
寄付金収入	3,800	管理経費支出	141,330
補助金収入	167,256	借入金等利息支出	0
付随事業・収益事業収入	14,225	借入金等返済支出	0
受取利息・配当金収入	1,858	施設関係支出	68,836
雑収入	37,341	設備関係支出	30,357
前受金収入	207,685	その他の支出	188,024
その他の収入	46,982	(予備費)	10,000
資金収入調整勘定	△ 274,103	資金支出調整勘定	△ 69,048
前年度繰越支払資金	1,334,103	翌年度繰越支払資金	1,306,766
収入の部合計	2,728,553	支出の部合計	2,728,553

【2017(平成29)年度 活動区分資金収支予算書】		(単位:千円)	
科 目		予 算	
教育活動による資金収支	収入	学生生徒等納付金収入	1,175,960
		手数料収入	13,446
		特別寄付金収入	1,800
		一般寄付金収入	2,000
		経常費等補助金収入	167,256
		付随事業収入	14,225
		雑収入	37,341
		教育活動資金収入計	1,412,028
		人件費支出	725,917
		教育研究経費支出	326,371
施設整備等活動による資金収支	収入	施設設備寄付金収入	0
		施設設備補助金収入	0
		施設設備売却収入	0
		施設整備等活動資金収入計	0
	支出	施設関係支出	68,836
		設備関係支出	30,357
		減価償却引当特定資産繰入支出	100,000
		施設整備等活動資金支出計	199,193
	差引		△ 199,193
	調整勘定等		10,500
	施設整備等活動資金収支差額		△ 188,693
	小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)		△ 19,495
その他の活動による資金収支	収入	借入金等収入	0
		預り金受入収入	1,000
		小計	1,000
		受取利息・配当金収入	1,858
		その他の活動資金収入計	2,858
	支出	借入金等返済支出	0
		預り金支払支出	0
		仮払金支払支出	700
		小計	700
		借入金等利息支出	0
		その他の活動資金支出計	700
	差引		2,158
	調整勘定等		0
	その他の活動資金収支差額		2,158
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)			△ 17,337
前年度繰越支払資金			1,334,103
予備費			10,000
翌年度繰越支払資金			1,306,766

【2017(平成29)年度 事業活動収支予算書】		(単位:千円)	
科 目		予 算	
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	1,175,960
		手数料	13,446
		寄付金	4,800
		経常費等補助金	167,256
		付随事業収入	14,225
		雑収入	37,341
		教育活動収入計	1,413,028
	事業活動支出の部	人件費	719,356
		教育研究経費	505,371
		管理経費	153,832
		徴収不能額等	9,150
		教育活動支出計	1,387,709
	教育活動収支差額		25,319
教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	1,858
		その他の教育活動外収入	0
	事業活動支出の部	教育活動外収入計	1,858
		借入金等利息	0
		その他の教育活動外支出	0
		教育活動外支出計	0
	教育活動外収支差額		1,858
	経常収支差額		27,177
特別収支	事業活動収入の部	資産売却差額	0
		その他の特別収入	0
	事業活動支出の部	特別収入計	0
		資産処分差額	0
		その他の特別支出	0
		特別支出計	0
	特別収支差額		0
	[予備費]		10,000
	基本金組入前当年度収支差額		17,177
	基本金組入額合計		△ 99,193
	当年度収支差額		△ 82,016
	前年度繰越収支差額		△ 3,394,484
	翌年度繰越収支差額		△ 3,476,500
(参考)			
事業活動収入計			1,414,886
事業活動支出計			1,397,709

大学報告

入学宣誓式報告

2017(平成29)年度入学宣誓式を4月3日(月)に挙行いたしました。伊勢俊雄理事長、森本武学長より式辞があり、藤原啓治教育後援会会長より祝辞をいただきました。在学生を代表して菅原熙響さんによる歓迎の言葉が述べられた後、芸術学部デザイン学科の大西結愛さんによる新入生宣誓が行われ、初々しい空気の中、閉式いたしました。なお、本年度の入学生は右記の通りです。(管理運営グループ)

【嵯峨美術大学大学院】

● 芸術研究科 9名

【嵯峨美術大学】

● 造形学科 63名(内3年次編入生1名)
● デザイン学科 118名(内3年次編入生2名)

小 計 181名(内3年次編入生3名)

【嵯峨美術短期大学】

● 専攻科 22名
● 美術学科 153名

小 計 175名

合 計 365名
(内3年次編入生3名)



2016年度進路概況とキャリア支援の取り組み

2017年3月(2016年度)卒業・修了生の就職状況については、就職希望者に対し大学(大学院含む)が84.4%、短期大学(専攻科含む)が70.8%、大・短合わせ77.9%という就職率となりました(2017年5月1日現在)。大学院、専攻科等への進学者は、大・短合わせ28名でした。6月現在、2018年3月卒業・修了生が就職活動の真只中ですが、人手不足のため優秀な人材確保に企業側が内定を前倒して囲い込みを進め、申し合わせが形骸化していることは報道などからもあきらかになっています。そこでキャリア支援窓口では、早期化傾向にある実際の動きにも対応していけるよう、学生が適切な時期に動き出せる意識・意欲と行動力を高めるサポートをしていくことが最も重要であると考えています。そのため、必要なタイミングに“今、すべきこと”に取り組んでいただく道標となるよう、様々なプログラムを準備しています。中でも重視しているのが、就活開始直前期にあたる2月に京都市立

芸術大学と合同で実施している企業研究会です。今年は2日間で28社に参加いただき、本学からは1日目118名、2日目110名の学生が出席、多くの学生にとって就活早期スタートのきっかけの場となりました。また、もっと気軽に、自由に、将来のことを話せる場として“キャリアカフェ”を週に1度学内で開催しています。ホッとやすらぎながら、お話しするだけの場ですが、参加をきっかけに方向性が見え、内定獲得につながるケースも出ています。(教務・学生支援グループ キャリア支援窓口)



2017年2月企業研究会

2018年度 大学案内完成!

4月からの校名変更に伴い、校名表記を「嵯峨美術大学」「嵯峨美術短期大学」として大学案内を発行いたしました。表紙は「美大」らしさを表すために、絵具で描いたようなラインをあしらい、新しい「嵯峨美」への期待が膨らむデザインとなりました。

各学科・領域の紹介はもちろん、学生の制作に打ち込む様子や、大学を取り巻く嵯峨野の風景など、嵯峨美の日常がわかる美大らしい大学案内になっています。今年度もアート、デザイン、企画関係など多方面で活躍している近年の卒業生を紹介しております。なかでも東京で就職している卒業生への取材を行い、嵯峨美で学んだこと、今の仕事で役立っていることを話していただいた記事は、受験生にアート、デザインの可能性を感じてもらえる内容になりました。

嵯峨美の学びと環境、教員と学生のまなざしを伝えるこの大学案内が、今年度の学生募集に役立つことを願っています。
(入学広報グループ)



告知

入学関係情報

今年のオープンキャンパスは、4月23日(日)、6月4日(日)、7月23日(日)、8月20日(日)、10月29日(日)です。体験入学は5月28日(日)、6月18日(日)、7月9日(日)、9月10日(日)に行います(キャンパス見学会は随時)。過去2年間の併願可能入試で最多受験者数を記録したスカラシップ(特別奨学生)入試は、前期日程のみ岡山でも受験が可能になりました。合格者は年額50万円の給付制度が適用されます(継続審査有。大学:年額50万円×4年間、短期大学:年額50万円×2年間)。他にも引き続き「AO入試教育支援奨学金」(合格者全員に10万円給付)や、申請資格を満たした方に給付する「推薦入試奨学金」(大学:37万5千円、短期大学:30万円)等、返済不要の給付型奨学金制度を設けています。

今後も本学の魅力をアピールしながら、入試内容や奨学金制度を充実させ、入学者増をめざしたいと考えております。
(入学広報グループ)



附属機関

桂正和複製原画展 報告

4月15日(土)から4月24日(月)まで、本学客員教授の桂正和先生の複製原画を紹介する展覧会が附属ギャラリー「アートスペース嵯峨」で嵯峨芸術センター主催展として開催されました。こんなに最も人気のある漫画家のひとりとして活躍目覚ましい桂先生は2015年度から客員教授として本学に就任いただいており、後進の指導にも力を注いでおられます。会場では『ZETMAN』『ウイングマン』『電影少女』『TIGER & BUNNY』などの複製原画38点に加え、フィギュアや桂先生の直筆サイン色紙なども展示紹介されました。ヒーロー的な男性、イノセントな少女など、高い描写力で描かれた登場人物はどれも魅力的で、ご来場いただいた方々は皆、精巧な複製画に熱心に見入っておられました。在学生はもちろん、ご家族連れ、

また30~40代のファン層の方たちも多く、世代を超えての桂先生の人気を彷彿とさせていました。
(社会連携・研究支援グループ)



本学関係者による展覧会情報

たま／短期大学 コミックアート 『Alice 2017(仮)』

会 期：7月13日(木)～21日(金)
会 場：六本木ストライプハウスギャラリー 1F、B1 (東京・六本木)

たま／短期大学 コミックアート 『たま個展』

会 期：11月21日(火)～12月3日(日)
会 場：ヴァニラ画廊(東京・銀座)

大沼憲昭／大学 造形学科・日本画 『日本画グループ「星辰」』

会 期：8月9日(水)～15日(火)
会 場：日本橋高島屋 6階美術画廊(東京・日本橋)
※林潤一名誉教授も出展されます。

附属ギャラリー「アトスペース嵯峨」スケジュール

「日仏英学生交流展」(仮)

会 期：7月8日(土)～15日(土)
時 間：11:00～18:00

「大槻香奈『あたらしい家プロジェクト2017』」

会 期：7月19日(水)～28日(金)
時 間：13:00～17:00
※7月23日(日)はオープンキャンパス開催のため、オープンキャンパス企画を開催します。

「大学院芸術研究科中間発表展」

会 期：8月1日(火)～4日(金)
時 間：12:00～17:00

「大槻香奈『あたらしい家プロジェクト2017』完成披露展」

会 期：8月19日(土)～28日(月)、休館日／日曜日
時 間：11:00～17:00(最終日:16:00まで)
※8月20日はオープンキャンパス開催のため、オープンキャンパス企画を開催します。

「生涯学習講座受講生作品展・前期」

会 期：9月11日(月)～17日(日)
時 間：10:00～17:00(最終日:16:00まで)

「外山重男・ある兵士の日常」

会 期：10月1日(日)～22日(日)
時 間：10:00～17:00

※大学授業・行事などにより、展覧会の内容・日時などは変更になる場合があります。

「アトスペース嵐」(玄関ホール・玄関ホールギャラリー) スケジュール

「コミックアートABC展」

会 期：7月8日(土)～16日(日)
時 間：11:00～17:00(最終日:16:00まで)

「観光デザインからの提案」

会 期：7月19日(水)～25日(火)
時 間：11:00～18:00(最終日:17:00まで)

「大学院芸術研究科中間発表展」

会 期：8月1日(火)～4日(金)
時 間：12:00～17:00

「Made in SAGABI・嵯峨美で生まれたアレコレ」(仮)

会 期：8月15日(火)～20日(日)
時 間：10:00～17:00

納戸色

納戸色(なんどいろ)とは、藍染めの一つで、緑色を帯びた深い青色のことです。赤みの強いものを「縹(はなだ)」といい、赤みが少なくやや鼠色を帯びた色を「納戸」といいます。別名、「御納戸色」。江戸城内の納戸の垂れ幕やふろしきに用いらてきました。藍色の濃度により濃い順で、紺、縹、納戸、浅葱(あさぎ)、薔覗(かめのぞき)となります。

「六花展」

会 期：9月18日(月・祝)～30日(土)
時 間：9:00～19:00

「コミックアート専攻科1回生展」

会 期：10月3日(火)～9日(月・祝)
時 間：9:00～18:00(最終日:16:00まで)

「京都擬人化作品展」

会 期：10月11日(水)～20日(金)
時 間：11:00～17:00(最終日:16:00まで)

※大学授業・行事などにより、展覧会の内容・日時などは変更になる場合があります。

連続公開講座「京の美意識」

四季をおこなす美しい景観に恵まれ、都として約1200年にわたる歴史の時を刻んできた京都の独特の知識や美意識について、毎回、各分野の第一線で活躍していらっしゃる講師をお招きして、ご講演いただいています。

第112回 「発酵食を台所に取り戻す」

日 時：7月1日(土) 14:20～15:50
講 師：関 恵 氏 <発酵食堂カモシカ 代表>

第113回 「パン食と健康」

日 時：9月23日(土・祝) 14:20～15:50
講 師：堀 三津雄 氏 <株式会社志津屋 代表取締役>

※有響館G401教室にて開催(参加無料)
お問い合わせ先：TEL.075-864-7898 社会連携・研究支援グループ

絵本読み語り「あらし山びこ」

附属図書館の児童書コーナー「あらし山びこ」では、近隣の小学生や児童を対象に、季節に合わせた絵本の読み語りイベントを開催しています。地域のみなさんと京都の文化を学び、ふれあう時を一緒に過ごしながら、子どもたちの読書の第一歩を応援しています。

日 時：7月15日(土)・9月16日(土)、13:00～14:00

※有響館1階、附属図書館内にて開催(入場無料)
大学授業・行事などにより開催日、テーマなどを変更する場合があります。
お問合せ先：TEL.075-864-7898 社会連携・研究支援グループ

サガフリーマーケット「サガノミノイチ」

本学では、学生有志によるフリマ実行委員会的主催でフリーマーケットを開催しています。学内を会場に、リサイクル品だけでなく、学生の手作りグッズから世界にひとつの作品まで、美大ならではのラインナップが並びます。在学生はもちろん、近隣の方々もご参加・ご出店いただけるサガフリーマーケット「サガノミノイチ」にご期待ください。

日 時：7月29日(土) 11:00～16:00

※天候や、大学授業・行事等により開催日を変更・中止にする場合があります。
お問合せ先：TEL.075-864-7898 社会連携・研究支援グループ

大学関連行事予定 Jun.2017 - Spt.2017

6月 4日(日)・・・オープンキャンパス	20日(日)・・・オープンキャンパス
11日(日)・・・ホームカミングデイ	26日(土)・・・AO入試Ⅱ期 (コミュニケーション型)
18日(日)・・・体験入学	
7月 9日(日)・・・体験入学(AOⅠ期プレ体験)	9月 5日(火)・・・前期集中授業、 ～8日(金)・・・後期履修登録期間
23日(日)・・・オープンキャンパス	10日(日)・・・体験入学
8月 1日(火)・・・授業予備日	18日(月・祝)・・・後期授業開始
～5日(土)	24日(日)・・・AO入試Ⅲ期(体験授業型)
1日(火)・・・AO入試Ⅰ期(体験授業型)	



学校法人 大覚寺学園
嵯峨美術大学
嵯峨美術短期大学



2017年4月、京都嵯峨芸術大学・京都嵯峨芸術大学短期大学部より名称変更

〒616-8362 京都市右京区嵯峨五島町1番地
TEL.075-864-7858 (代) FAX.075-881-7133 <http://www.kyoto-saga.ac.jp>

嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学広報 第61号 2017年6月15日発行 編集：嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学 入学広報グループ
発行：学校法人大覚寺学園 嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学
info@kyoto-saga.ac.jp



公式
Facebook



公式
Twitter



公式
YouTube

